

浦和地区専門委員(地区執行委員)

1	住吉さと志	東浦和中
2	大河原常男	中尾小
3	佐藤 敏子	尾間木中
4	島根 君男	木崎中
5	千葉 俊介	針ヶ谷小
6	成島 仁	栄和小
7	猪野 新一	新開小
8	杉田 誠	大谷口中

地区担当執行委員

1	高田 肇	東浦和中
2	荒木 要	白幡中

浦和・大宮・与野地区
地区ごとに皆さんの声を
ていねいに受けとめていきます

浦和地区

新しい日課に四苦八苦!

新学習指導要領の本格実施と学校五日制のスタートによって、学校生活は超過密スケジュールの中に投げ込まれてしまった感があります。始業式以降、生徒も教職員も新しい日課の中で四苦八苦しています。児童生徒、父母そして教職員など現場の声に根ざしたものでない、上からの「教育改革」がいかに大きな弊害をもたらすか既に明瞭です。

小回りの利く組合活動を!
学校にゆとりを取り戻し、ゆきとどいた教育を実現するため、職場の要求をまとめ行政に働きかける私達教職員組合の活動がますます重要になってきていると思います。浦和地区では今年度「小回りの利く組合活動」を目標にします。



大宮地区専門委員(地区執行委員)

1	安孫子大志	宮原小
2	石井 孝司	桜木小
3	石川 一彦	別所小
4	稲葉 達也	大宮西小
5	江田 直美	大成小
6	岡庭 健司	片柳小
7	折間 幸夫	大宮西小
8	小松ミイ子	畑東小
9	高橋 博	海老沼小
10	田中 信吾	蓮沼小
11	綱島 秀和	日進中
12	寺崎美恵子	春岡小
13	前島 英男	三橋小
14	松島 清江	植水小
15	村松まり子	片柳中
16	茂木 隆	土呂中
17	和良品友雄	桜木小
18	湧井 一成	三橋小

大宮地区

感動! 中学校に温かい給食が...

この四月から大宮の八幡中・片柳中の二校が食缶方式の給食になりました。一生箱弁を食べ続けるものとあきらめていた教職員からは「熱い」「おいしい」と大好評です。

また、日進中・植水中の二校は今年度、大砂土中をはじめ西側の一〇校が来年度から給食室の工事が始まります。また、二〇〇四年にはすべての中学校で、温かい給食になります。これまでの給食改善の運動が実り、本当にうれいす。



少数指導強制で空き時間がない!

さて、学校週五日制が今年度から実施されますが、市教委(県、文科省)からの一枚の通達で大宮の小中学校でも持ち時間を増やしての少数指導(いわゆるTT)の実施が迫られています。小学校

さいたま市
教職員組合
(埼教組)

TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail
saisikyouso@mx2.
et.tiki.ne.jp

2002. 4. 18(木)

No. 2

※訂正とお詫び
情宣一号の浦和地区担当執行委員の荒木要さんの分会名は白幡中でした。訂正してお詫び申し上げます。

地区担当執行委員

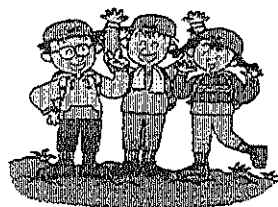
1	荒井 信次	畑八幡中
2	山本 悠子	馬宮東小
3	山本 邦雄	春岡小

与野地区

では全く空き時間がないという教職員も何人も出ており、このままでは病氣や過労死がでかねないなどの悲鳴が聞こえてきます。(この問題については市教委に実態を早急に伝えるとともに、県段階では交渉を進めていきます。)

「山の家」問題

従来与野では、六日町山の家を小学校五年生で、冬のスキー林間を実施していました。この施設は子ども及び職員にとって大変使いやすいと、父母にも好評でした。ところが三市合併後、この施設の利用が危うくなってきました。詳しい説明もありませんが、ことが進められていますが、なぜ今まで使ってきたものが使えなくなるのか大きな疑問があります。単に大宮や浦和に統合させようというのでは、



与野地区専門委員(地区執行委員)

1	笠井 摂子	騮本町小
2	飯村美代子	上落合小
3	加藤不二緒	大戸小
4	本多 伸年	下落合小
5	福田 美子	鈴谷小
6	半井リエ子	西北小
7	町田 英子	騮八幡小
8	多賀谷 固	与野南小
9	後藤百合子	与野東中
10	佐藤 努	与野西中
11	高原 史朗	与野南中

地区担当執行委員

1	山本 英二	八王子中
2	丸橋 明夫	与野東中
3	関根 純子	鈴谷小

■晋輔先生の「びくち」実践講座①

1 班とは
みなさん、今年は日々の行っていることを「実践」と位置付け、教育的な意味づけを問い直してみませんか。そうしないと、知らないうちに変な政治的メッセージを児童・生徒に送ってしまうこともありますから。たとえば「立しよう指導」ということで校門に立つ先生がいます。これは軍隊用語で「門前で鉄砲を持って立つ」という用語で使いたくない言葉です。普段使っているといっても古すぎる言葉とはおさらばしましょう。

えーと、今回は「班」についてです。
「班」は昔の「内務班」という軍隊用語の生き残りという説もあるくらい古い用語です。そのためか、結構しびりがきつい。例えば人数や男女混合など。学校によっては座り方まで規定したりしています。また、古い人ほどきついしびりを好む傾向があるようです。「自由につくっていいよ」と言い、男女混合でも、男女別でもよく、人数の制限もないグループを「班」と呼び、実践を展開している人もいますが、少なくとも中学校では稀です。
つづく (中川晋輔 大久保中学校教諭)

「給食の食器」問題

自校給食の小学校で、食器が新しくなります。しかし、担当職員の方々の意見を無視して、ポリプロ食器が導入されようとしています。予算の問題としても、

対応の仕方はいろいろと工夫できるはずですが、子どもたちも安全で、喜んで食べられるような食器にしようという声がなぜ届かないのか、現場の意向を聞かない行政に憤りを感じます。
与野では「新市になって良いことは何もない」という声がすべての学校からあがっています。与野の良さが失われていく危機感を感じています。